

鏡・壁装ガラスの標準施工(JASS-17)

鏡・壁装ガラスの標準施工にあたっては、JASS-17（日本建築学会・建築工事標準仕様書17・ガラス工事、2003年12月1日第4版）を引用しています。

●鏡の切断と加工

鏡を切断したり、面取りしたりするとエッジ部（銀膜）が露出するため耐久性が低下します。鏡の耐久性低下をおさえるために、お取扱いの際には下記の事項につきましてご注意ください。

1. 鏡の取り扱いにあたっては、きれいな手袋を使用し、素手で扱わないでください。
2. 鏡の切断や面取り加工後は、水などが付いたままの状態では放置しないでください。
3. エッジ部（銀膜）の保護のため切断、面取り加工後は、すみやかにふち塗り処理（樹脂コーティング、木ろう塗りなど）をしていただくことを推奨いたします。

●接着材と目地シール材

1. ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシール
ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールをご利用ください。
接着材は200ml以上／鏡1m²当り、かつ一箇所当たり20ml程度とします。
2. 両面粘着テープ
両面粘着テープは鏡・壁装ガラス面積の1／10以上とし、厚さは3mmまたは5mm。
3. 目地シール材
ハイミラーセメダインスーパー、POSシールまたはシリコン系シーリング材。

ガラス種類	シリコン系シーリング材			
	脱オキシム型	脱アルコール型	脱アセトン型	脱酢酸型
鏡	△	○	○	×
壁装ガラス	○	○	○	○

○：使用可
△：シーリング材が裏止め塗膜に直接に接しないよう注意が必要。また、高耐久（ハイミラー DXII）仕様のガラス鏡の場合は使用可
×：使用不可

●両面粘着テープの特長

1. 初期粘着性に優れ、同時に長期間にわたり安定したクッション性、粘着性を維持します。
2. 柔軟性に富んだフォームを採用しているため被着体のソリや凹凸にもよくなじみます。
3. 優れた保持能力を発揮します。

●施工上のご注意

1. 両面粘着テープは合板に付着しにくく湿気に弱いので、ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールと併用してください。（両面粘着テープはプライマー塗布が必要です。）
2. シリコン系シーリング材を接着剤として使用する場合はハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールを推奨します。
3. 裏面保護塗装と金属金具が直接接触することがないようにクッション材を挿入してください。
4. ガラスと下地材は3mm程度の空隙（チリ）を設けてください。
5. 下地全体の仕上り精度の範囲は、2L／1000以下、かつ±5mm以内に納まるようにしてください。可能であれば±3mm以内が望ましい。
6. 下地がタイルの場合は水洗いを行い、その後に施工してください。（タイル下地は酸洗いすることがあります。）
7. 壁紙、クロス張り、レザー張りなどの下地は支持力が期待できないので、ガラス取り付け部分の壁紙などを剥がす必要があります。
8. しっくい、土壁などの下地への取り付けは避けてください。
9. 1枚張り（接着構法）は浴室など湿気が多い場所や、落下した場合に危険な部位での使用はできません。1枚張り（接着・金物併用構法）をご採用ください。

*POSシールはセメダイン株式会社の商品です。

鏡・壁装ガラスの標準施工(JASS-17)

●各種施工法別最大寸法および支持方法

施工法		最大寸法	主支持材	補助材
鏡	1枚張り	接着構法	0.5㎡以下	ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシール(200㎖以上/㎡)
	1枚張り	接着・金物併用構法	2㎡以下	受け金物(ピースまたは片長チャンネル) ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシール(200㎖以上/㎡)
壁装ガラス	連続段積み張り	接着・隠し金物併用構法	3㎡以下	片長チャンネル・隠し金物 ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシール(200㎖以上/㎡)
	大板連続張り	接着・金物併用構法	5㎡以下	片長チャンネル(上下) ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシール(200㎖以上/㎡)
	天井張り	接着・金物併用構法	600×600mmまで	飾り金物・ハット型・目地受金物 ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシール(600㎖以上/㎡)

※3m以上の高さの大板ガラスは取り扱い上、6ミリ以上の厚さのものを使うのが一般的です。

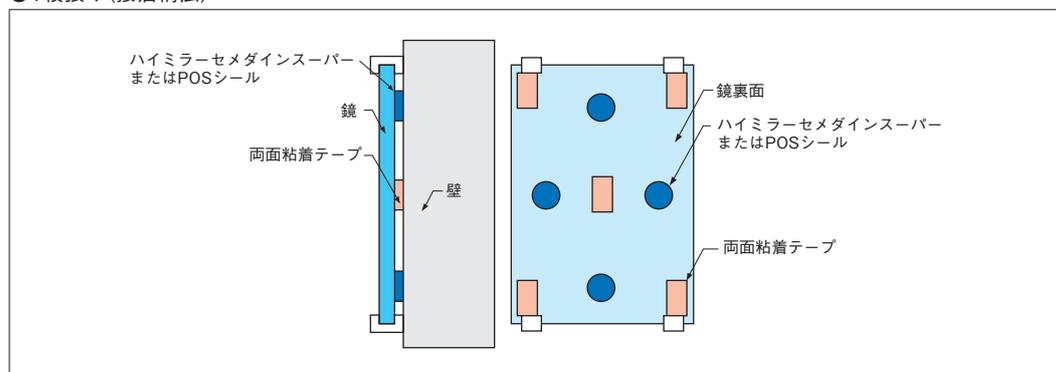
●下地材の選択

下地種類	下地の平面性	施工時期	接着構法	接着・金物併用構法	接着材との関係
耐水合板仕上げ	○	下地施工後、すぐに施工可能	○	○	ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールおよび両面粘着テープ
石膏ボード	△	下地施工後、すぐに施工可能	—	○	両面粘着テープを用いてハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールと受け金物との併用
ガラス繊維強化石膏スラグ板	△	下地施工後、すぐに施工可能	—	○	両面粘着テープを用いてハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールと受け金物との併用
モルタル仕上げ	×	モルタル塗装後、1ヶ月の乾燥期間を要す。	—	○	モルタル・コンクリートは乾燥後も吸水することがあるので、両面粘着テープと接着材は接着強度が低下する。ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールと受け金物との併用
コンクリート打放し	×	コンクリート打ち後、2ヶ月の乾燥期間を要す。	—	○	モルタル・コンクリートは乾燥後も吸水することがあるので、両面粘着テープと接着材は接着強度が低下する。ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシールと受け金物との併用

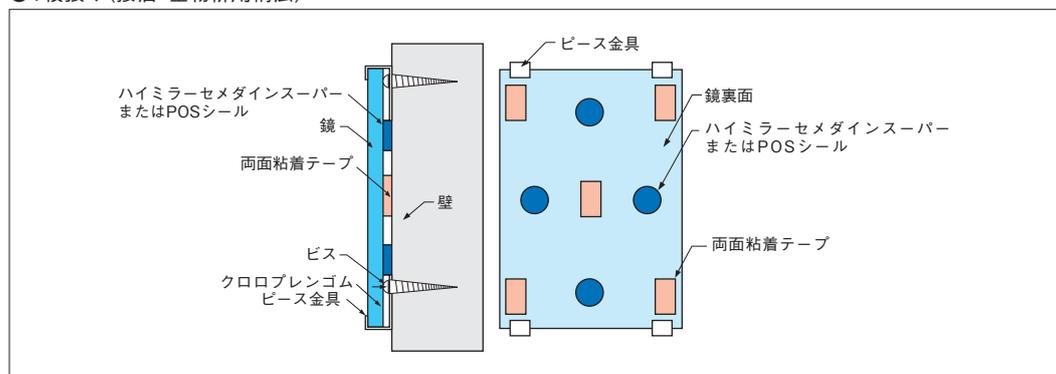
※耐水合板、石膏ボード等は9mm以上の厚さのものを使用してください。

●取り付け鏡標準施工

●1枚張り(接着構法)



●1枚張り(接着・金物併用構法)

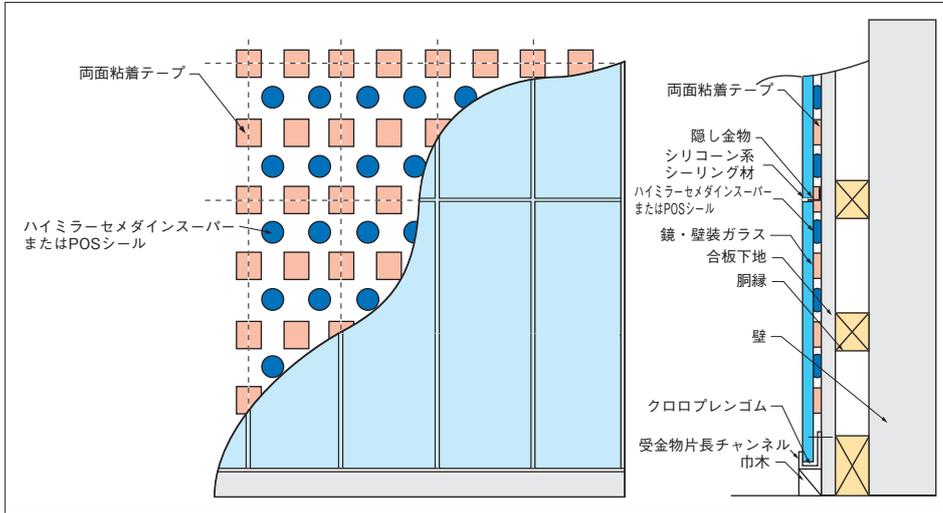


*POSシールはセメダイン株式会社の商品です。

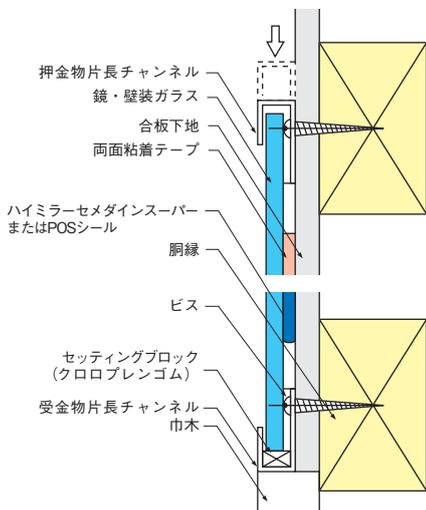
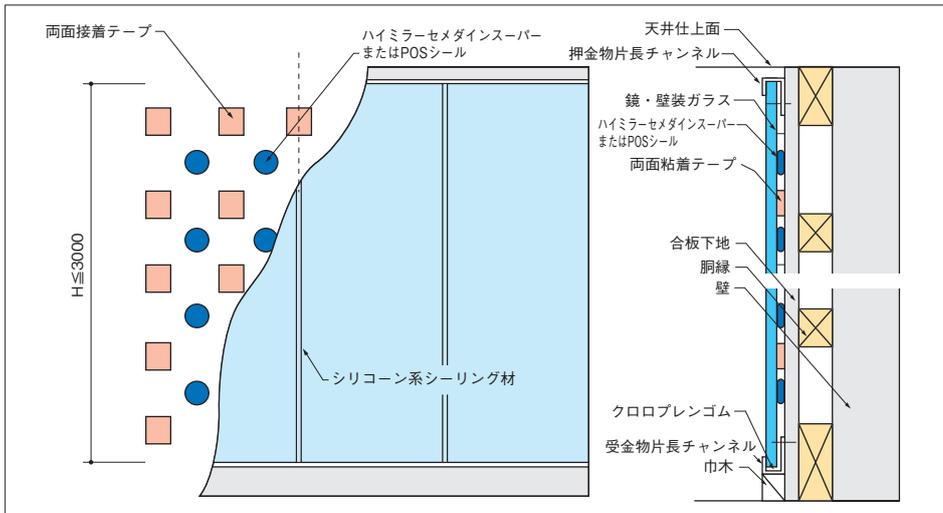
●壁面施工

1. 鏡・壁装ガラスを壁面に施工するディスプレイデザインには、2つの方法があります。
一枚の大きさをそのままに生かした「大板張り」と、四角形、帯形等の形に切断して積み上げて施工する「連続段積み張り」です。
2. 連続段積み張りする場合、映像のゆがみや段違いが起りやすいので、これを防ぐため下地全体の仕上り精度を良くし、目地合わせしながら施工してください。
3. 目地幅は目地材を充填時3mm以上確保してください。

●連続段積み張り(接着・隠し金物併用構法)



●大板連続張り(接着・金物併用構法)



*POSシールはセメダイン株式会社の商品です。

真空ガラス

複層ガラス

学校用ガラス

防火ガラス

防犯ガラス

強化・倍強度
ガラス

合わせガラス

特殊
機能ガラス

高透過ガラス

熱吸・熱線反射
ガラス

板ガラス

装飾ガラス

鏡・
ライガラス

板ガラス応用
製品及び施工法

設計・施工
上の注意

板ガラスの
光学的性能
熱的性能

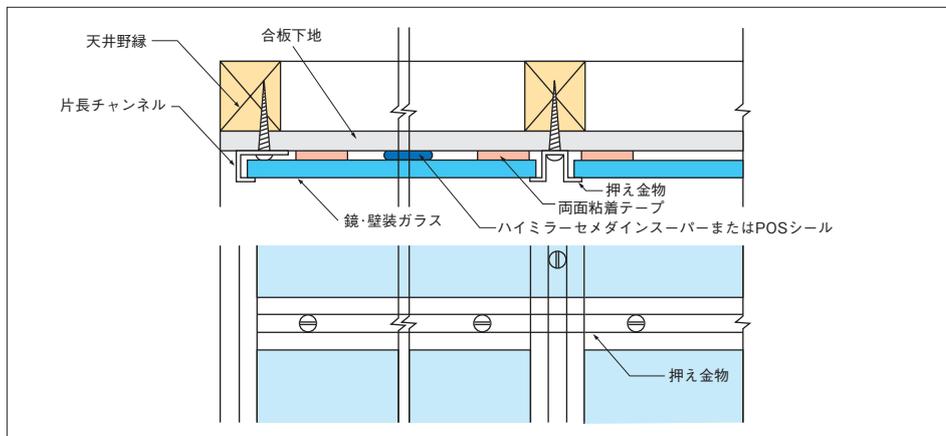
製品一
覧

鏡・壁装ガラスの標準施工(JASS-17)

●天井施工

1. 天井施工は安全性を十分に考慮する必要がありますので、接着剤(ハイミラーセメダインスーパーまたはPOSシール・両面粘着テープ)と四周枠金物(片長チャンネル・押え金物)、ピース金物、ビス金物のいずれかと併用してください。
2. 天井構成材はガラスの重量を支える十分な強さが必要です。

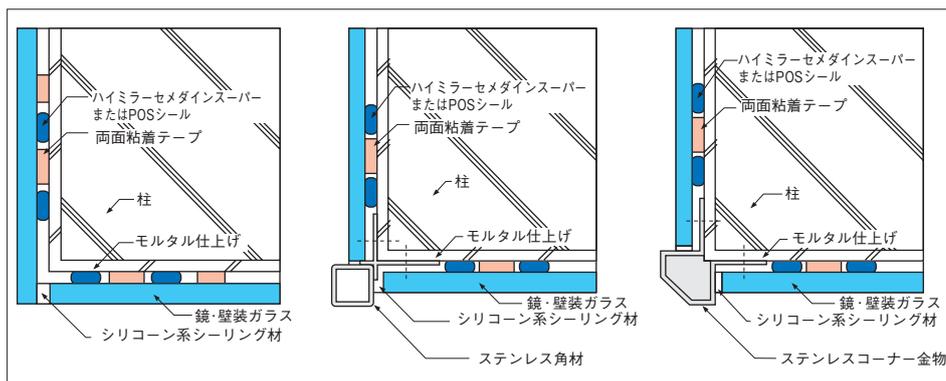
●天井施工



●柱巻施工

1. 柱巻施工(または出隅施工)には、下図のような3種の方法があります。

●柱巻施工



*POSシールはセメダイン株式会社の商品です。